

# **MF112A User Guide**

**Version:1.0.0**

# 目次

はじめに .....	1
ご利用いただくにあたって .....	1
同梱品の確認 .....	1
動作環境 .....	2
安全上のご注意 .....	3
医用電気機器近くでの取り扱いについて .....	7
取り扱い上のご注意 .....	8
共通のお願い .....	8
本製品についてのお願い .....	8
SIM カードについてのお願い .....	9
注意 .....	9
1. 各部の名称と機能 .....	10
1.1 ステータスランプ表示の見方 .....	10
2. SIM カードの準備 .....	11
2.1 取り付けかた .....	11
2.2 取り外しかた .....	11
3. セットアップ .....	12
3.1 セットアップ (Windows) .....	13
3.1.1 Modem Mobile Connection をインストールする .....	13
3.1.2 Modem Mobile Connection をアンインストールする .....	16
3.2 セットアップ (Mac) .....	17
3.2.1 Modem Mobile Connection をインストールする .....	17
3.2.2 Modem Mobile Connection をアンインストールする .....	21
4. データ通信用ユーティリティソフト .....	22
4.1 Modem Mobile Connection の画面構成 .....	22
4.2 Modem Mobile Connection の起動 .....	24
4.3 Modem Mobile Connection の終了 .....	24
4.4 接続設定 .....	25
4.4.1 プロファイル設定 .....	25
4.5 接続・切断 .....	27
4.6 ネットワーク接続履歴 .....	28
4.7 PIN 管理 .....	29
4.7.1 PIN 認証有効 .....	29
4.7.2 PIN 認証無効 .....	30
4.7.3 PIN コードの変更 .....	31
4.8 ネットワーク設定 .....	32
4.8.1 ネットワーク選択 .....	33

---

4.8.2 モード選択 .....	34
4.9 インポート・エクスポート設定 .....	35
4.9.1 インポート .....	35
4.9.2 エクスポート .....	35
4.10 端末情報.....	36
5. 付録 .....	37
5.1 主な仕様.....	37
5.2 輸出管理規制 .....	38
5.3 CE Marking .....	38
5.4 FCC Regulations .....	38
5.5 RF Exposure Information(SAR).....	39
5.6 WEEE/RoHS Compliance Statement .....	40
5.7 知的財産権 .....	40

---

# はじめに

このたびは、データ通信専用機種 MF112A(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

## ご利用いただくにあたって

- ・ 本製品は無線を利用しているため、トンネル、地下、建物の中など電波の届かない所や、屋外でも電波の弱い所、サービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご利用にならない場合があります。
- ・ 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようご使用ください。
- ・ 海外でご利用いただく場合は、事前にご契約先のお問い合わせ窓口へ確認してください。
- ・ 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。

## 同梱品の確認

お買い上げいただいた本製品には、次のものが入っています。ご利用になる前に確認してください。万一、不足していた場合には、ご契約先のお問い合わせ窓口へご連絡ください。

本体	MF112A	1 個
同梱品	クイックスタートガイド	1 部
	USB アダプタ	1 個
	SIM カード	1 枚

- ・ SIM カードは、お客様の申し込み内容により同封されない場合があります。
- ・ 同梱品の USB アダプタを使用する場合、MF112A ならびに接続機器との抜き差し時には注意してください。
- ・ 同梱品の USB アダプタ使用中は、曲げたり、強い力を加えたり、強い衝撃を与えたり、重いものを載せないでください。MF112A ならびに接続機器が故障する場合があります。

## 動作環境

対応 OS	Windows 8.1	日本語版, 32/64 ビット
	Windows 8	日本語版, 32/64 ビット
	Windows 7	日本語版(Service Pack 1 以降), 32/64 ビット
	Windows Vista	日本語版(Service Pack 2 以降), 32/64 ビット
	Mac OS 10.6~10.7	日本語版(Intel), 32/64ビット
	Mac OS 10.8~10.9	日本語版(Intel), 64ビット
必要なメモリ	Windows 8.1	推奨 1GB 以上
	Windows 8	推奨 1GB 以上
	Windows 7	推奨 1GB 以上
	Windows Vista	推奨 512MB 以上
	Mac OS 10.6~10.9	推奨 1GB 以上
ハードディスク	50MB 以上の空き容量	
インタフェース	USB 2.0 High Speed	




- ・ 上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。
- ・ 同梱品以外の USB アダプタや USB ハブ(モニターやキーボードなどにある USB ポートを含む)などを経由しての動作は保証いたしかねます。
- ・ OS のアップグレードからの動作は保証いたしかねます。

# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。安全にお使いいただくために必ずお読みください。






次の表示の区分は、表示内容を守らずに誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しております。

## 表示記号の説明






 <b>危険</b>	この表示は「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。
 <b>警告</b>	この表示は「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示は「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」を示しています。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。











## 図記号の説明

 禁止	本製品の取り扱いにおける禁止事項(してはいけないこと)を示しています。
 分解禁止	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 水濡れ注意	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火するおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 濡れ手禁止	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
 指示	本製品の取り扱いに関する指示事項を示しています。

 **危険**










	<p>直射日光が当たる場所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用や、放置はしないでください。</p> <p>発熱、発火、機器の変形や故障の原因となります。また、本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。</p>
	<p>高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。</p> <p>電子機器(心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど)の動作に影響を及ぼすおそれがあります。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売会社にご相談ください。</p>
	<p>分解、改造をしないでください。</p> <p>火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。</p> <p>本製品の改造は電波法に違反します。</p>
	<p>濡れた手で触らないでください。</p> <p>感電や故障の原因となります。</p>
	<p>浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。</p> <p>発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p> <p>コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。</p> <p>液体がこぼれて濡れると、発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p>

 **警告**

	高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。 機器の故障、火災、本人や他の人のけがの原因となります。
	USB コネクタに導通性異物を接触させないでください。また、すき間から異物を入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にいれないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	必ず専用の機器をご使用ください。 指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	車両の運転中に本製品を使用しないでください。 交通事故の原因となります。
	航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。 電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。
	長時間使用しない場合、本製品をパソコンから取り外してください。 感電、火災、故障の原因となります。
	エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所に本製品を置かないでください。 エアバッグが展開した場合、本製品が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
	煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態には、すぐに本製品をパソコンから取り外してください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。異常に気づいたときは、ただちにご使用をお止めください。
	内部に水などが入った場合には、ただちにご使用をお止めください。 そのまま使用し続けると、感電や故障の原因となります。







 **注意**

	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障の原因となります。
	本製品、SIM カードに無理な力を加えないでください。 故障、けがの原因となります。
	車両の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。 本製品を自動車内で使用すると、まれに車両の電子製品に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。 故障の原因となります。
	磁気カードなどを本製品に近づけないでください。 キャッシュカード、クレジットカードなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
	お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。 異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
	小さなお子様手の届かない場所に保管してください。 SIM カードを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。
	子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。 使用中においても指示どおりに使用しているかご注意ください。けがなどの原因となります。
	本製品を長時間ご使用される場合、本製品の温度が高くなる場合があります。 温度の高い部分に長時間触れると低温やけどになる恐れがあります。

# 医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)の内容を参考にしたものです。



 <p>指示</p>	<p>医療機関などでは次のことを守って使用してください。</p> <p>手術室、集中治療室(ICU)及び冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。</p> <p>病棟内では、パソコンの電源を切ってください。</p> <p>ロビーなど本製品の使用を許可された場所であっても、付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。</p> <p>医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。</p>
 <p>指示</p>	<p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を 22cm 以上離して携行および使用してください。</p> <p>電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>
 <p>指示</p>	<p>満員電車の中など混在した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している可能性がありますので、パソコンの電源を切るようにしてください。</p> <p>電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>
 <p>指示</p>	<p>自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。</p> <p>電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。</p>

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。  
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- ・ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。  
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源がさかれる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- ・ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。  
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- ・ 本製品に無理な力がかからないよう使用してください。  
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基盤などの破損、故障の原因となります。

## 本製品についてのお願い

- ・ 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所は避けてください。
- ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ・ 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ パソコンに USB コネクタを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ 移動するときは、本製品をパソコンから取り外してください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ 使用中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

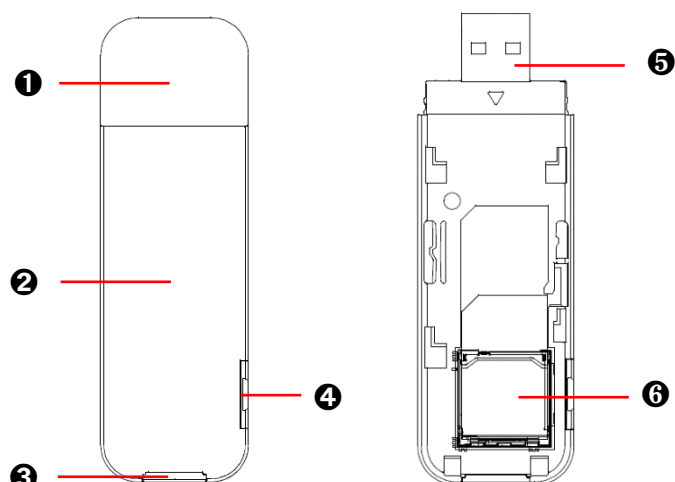
## SIM カードについてのお願い

- ・ SIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ・ IC 部分(金属面)はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- ・ IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。  
データの消失、故障の原因となります。
- ・ SIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障の原因となります。
- ・ SIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。  
故障の原因となります。
- ・ SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けしないでください。  
故障の原因となります。

## 注意

- ・ 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。  
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本製品の銘版シールに表示されております。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

# 1. 各部の名称と機能



**① USB キャップ**  
USB コネクタのキャップ

**② カバー**  
SIM カードを保護するためのカバー

**③ ステータスランプ**  
本製品の状態などを表示

**④ メモリカードスロット**  
メモリカードを取り付ける個所  
※本製品では使用できません。

**⑤ USB コネクタ**  
パソコンとの接続端子

**⑥ SIM カードスロット**  
SIM カードを取り付ける個所

## 1.1 ステータスランプ表示の見方

本端末の状態		ステータスランプ
電源 OFF		消灯
圏外		赤点灯
PIN1	PIN1 ロック	赤点灯
	PIN1 入力待ち	赤点灯
SIM カード未挿入		赤点灯
待機状態	W-CDMA(3G), HSDPA, HSUPA	青点灯
	GPRS, EDGE	緑点灯
接続状態	W-CDMA(3G), HSDPA, HSUPA	青点滅
	GPRS, EDGE	緑点滅

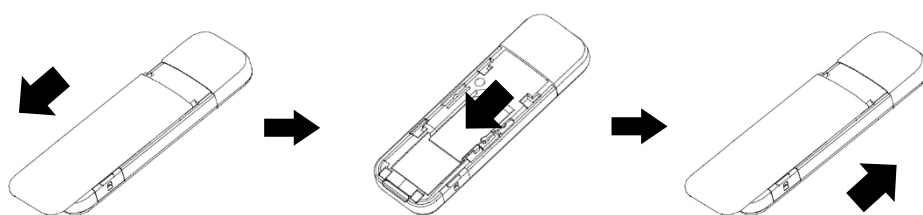
※通信中は約 1 秒間隔で点滅します。

## 2. SIM カードの準備

SIM カードは電話番号などのお客様の情報が記録されている IC カードです。本製品を使用するためには SIM カードを本製品に取り付けてください。本製品に取り付けないと、データ通信などを利用することができません。

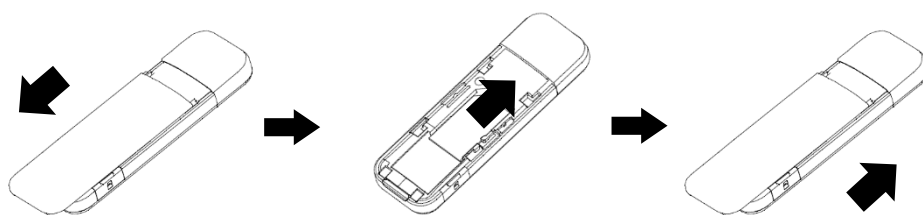
### 2.1 取り付けかた

1. 本体カバーをスライドし、取り外します。
2. SIM カードスロットに金色の端子部分を下に向けて矢印の方向へ挿入します。  
挿入する際は、挿入方向(切り欠きの向き)にご注意ください。
3. 本体カバーをスライドし、取り付けます。



### 2.2 取り外しかた

1. 本体カバーをスライドし、取り外します。
2. SIM カードスロットから SIM カードを取り外します。
3. 本体カバーをスライドし、取り付けます。



- ・ SIM カードの IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ・ SIM カードを無理に取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ SIM カードを逆向きに挿入すると故障の原因となります。
- ・ 取り外した SIM カードはなくさないようにご注意ください。
- ・ パソコンに本製品が接続された状態で SIM カードを取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。

## 3. セットアップ

---

本製品をご利用のパソコンで使用する為のセットアップ手順について説明します。

- ・ インストールを行う時は、OS を起動してから本製品をパソコンに取り付けてください。
- ・ インストール中はパソコンから本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、またシステムがダウンするなどの異常をおこす場合があります。
- ・ インストール／アンインストールは管理者権限で実施してください。
- ・ ご利用のパソコンによっては、インストールに数分かかる場合があります。
- ・ インストールを開始する前に起動中のアプリケーションは終了してください。
- ・ パソコンがスリープまたは休止状態になるとインストールが正常に完了しませんので、ご注意ください。

## 3.1 セットアップ(Windows)

本製品はゼロインストール機能を搭載しているため、初めて本製品をパソコンに接続した際、インストーラが自動的に起動し、データ通信用ユーティリティソフト(Modem Mobile Connection)のインストールを行います。

※手順や画面イメージは、Windows8 を例に記載しています。

### 3.1.1 Modem Mobile Connection をインストールする

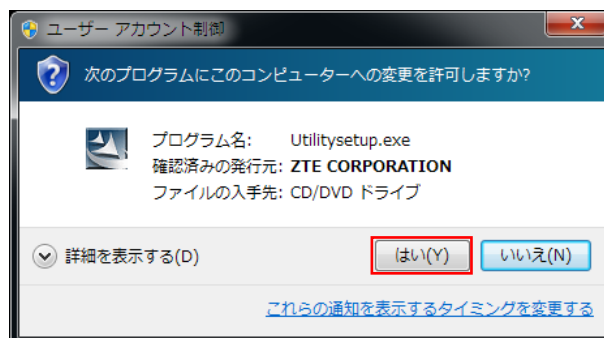
1. パソコンの電源を入れ、OS を起動します。
2. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
3. CD ドライブへの操作を確認するメッセージが表示されたら、タップまたはクリックします。



4. 「メディアからのプログラムのインストール/実行」が表示された場合は、Utilitysetup.exe の実行をタップまたはクリックします。



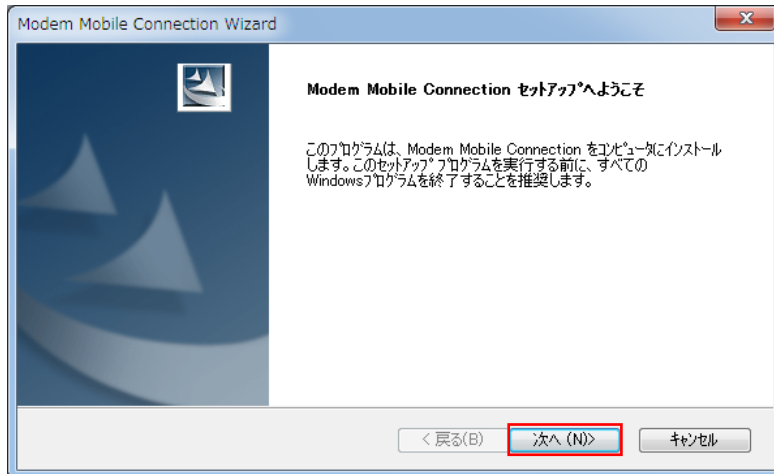
5. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をタップまたはクリックします。



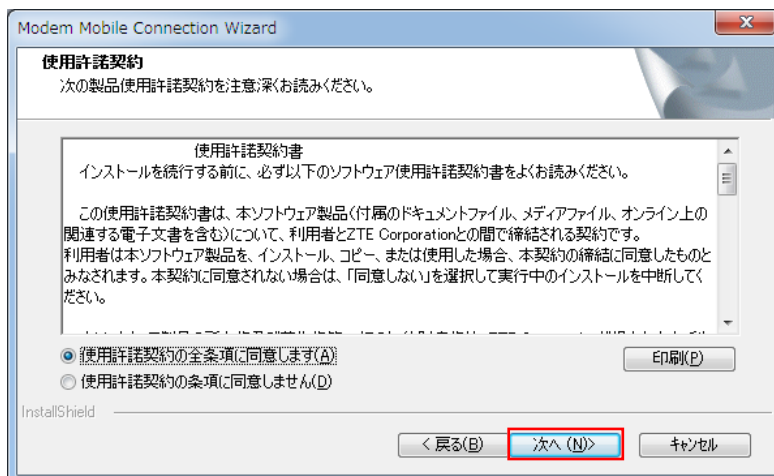
※Windows Vista をお使いの場合、「続行」をクリックします。



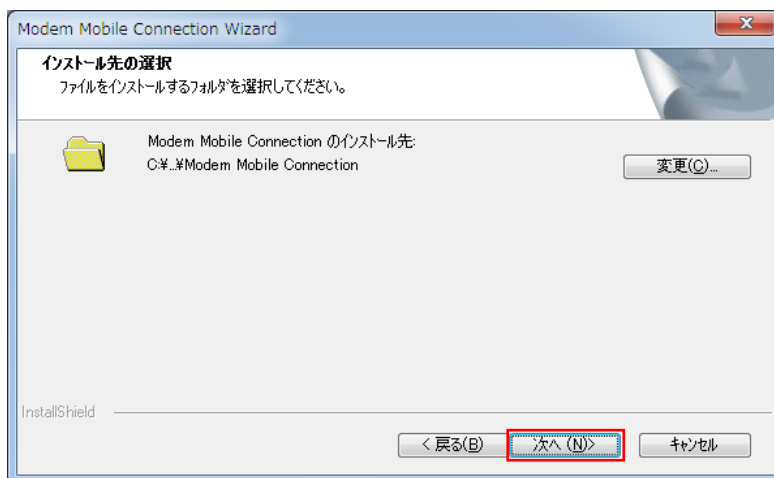
6. Modem Mobile Connection のインストールを開始します。「次へ」をタップまたはクリックします。



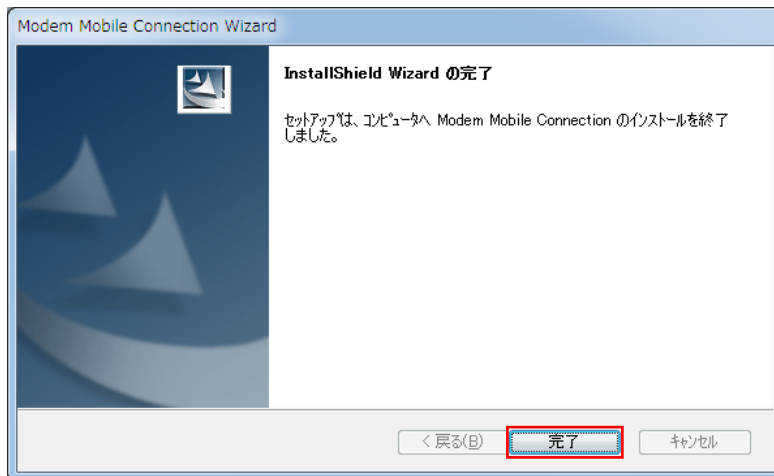
7. 「使用許諾契約」の内容を確認の上、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をタップまたはクリックします。



8. インストール先を選択し、「次へ」をタップまたはクリックします。



9. 以下の画面が表示されるとインストールが完了します。「完了」をタップまたはクリックします。  
デバイスドライバ認識後に自動的に Modem Mobile Connection が起動します。



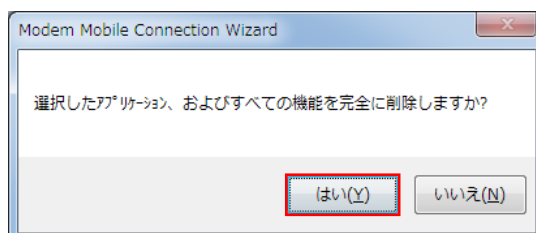
### 3.1.2 Modem Mobile Connection をアンインストールする

1. デスクトップの画面の右端からスワイプします。チャームの「設定」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をタップまたはクリックします。

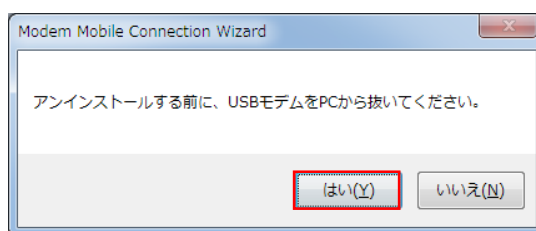
マウス操作の場合はマウスポインターを画面右上隅か右下隅に移動するとチャームが表示されます。

※Windows 7, Vista の場合は、[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムのアンインストール]を順にクリックします。

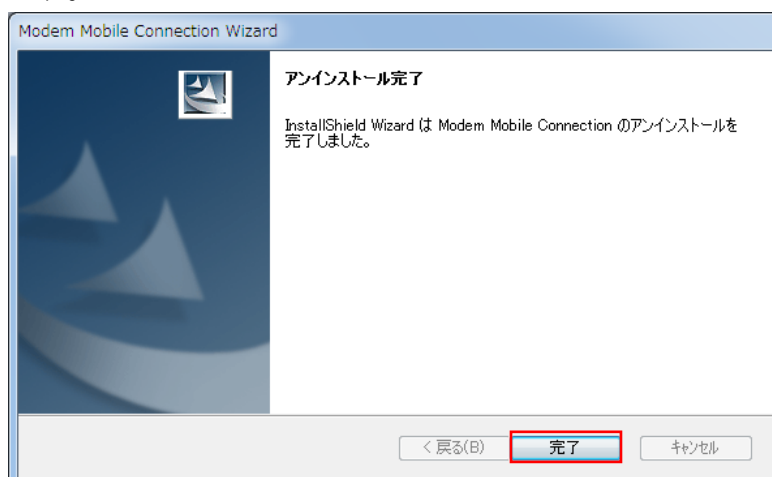
2. 「Modem Mobile Connection」を選択し、「アンインストールと変更」をタップまたはクリックします。
3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をタップまたはクリックします。
4. 「選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか？」の確認画面が表示されます。「はい」をタップまたはクリックします。



5. 「アンインストールする前に、USB モデムを PC から抜いてください。」の確認画面が表示されます。本製品が接続されていない事を確認し「はい」をタップまたはクリックします。アンインストールが開始されます。



6. [完了]をクリックします。



## 3.2 セットアップ(Mac)

Mac OS ではゼロインストールに対応していませんが、本製品をパソコンに接続すると CD-ROM アイコンが表示され、そこからインストールを行う事ができます。

### 3.2.1 Modem Mobile Connection をインストールする

1. パソコンの電源を入れ、OS を起動します。
2. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
3. デスクトップに CD-ROM のアイコンが表示されます。本アイコンをダブルクリックします。



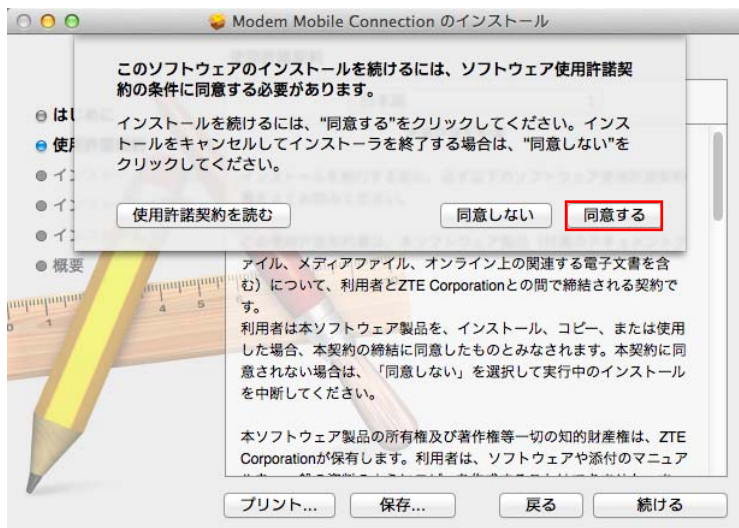
4. 「Modem Mobile Connection.mpkg」をダブルクリックします。インストールが開始されます。  
デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されない場合、「Finder」→「デバイス」→「ZTE MODEM」→「Modem Mobile Connection.mpkg」をダブルクリックしてください。
5. 「続ける」をクリックします。



6. 「使用許諾契約」をご確認の上、「続ける」をクリックします。



7. 「使用許諾契約」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。



8. インストール先を変更する場合は、「インストール先を変更」をクリックします。

※お使いのパソコンによっては「インストール先を変更」が表示されない場合があります。その場合は手順 10へお進みください。



9. インストール先を選択し、「続ける」をクリックします。



10. インストールをクリックします。



11. 管理者パスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



12. 「閉じる」をクリックすると、インストールが完了します。

インストール完了後、Modem Mobile Connection が自動的に起動します。



## 3.2.2 Modem Mobile Connection をアンインストールする

- ・ パソコンから本製品を取り外してからアンインストールを行ってください。
- ・ 必ず管理者権限を持つユーザーアカウントでアンインストールを行ってください。
- ・ 必ず本手順でアンインストールを行ってください。

1. Finder を起動します。
2. アプリケーションフォルダ配下の「Uninstall Modem Mobile Connection」をクリックします。
3. 「アンインストール」をクリックします。



4. 管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



5. アンインストールが開始されます。
6. 「閉じる」をクリックします。









## 4. データ通信用ユーティリティソフト

本製品はデータ通信用ユーティリティソフトの Modem Mobile Connection がインストールされます。本ソフトを利用して PC(Windows/Mac) 上でデータ通信が利用できます。






### 4.1 Modem Mobile Connection の画面構成



[機能名称]

	ネットワーク	ネットワーク接続画面を表示します。 本画面でネットワークへの接続・切断を行います。
	接続設定	接続設定画面を表示します。 本画面で各種設定を行います。
	端末情報	端末情報画面を表示します。 本画面で端末の情報が確認できます。
	ヘルプ	取扱説明書を表示します。

[システム状態表示]

	電波状態	電波状態を6段階で表示します。	
 	本製品の状態	赤	本製品が認識されていません。
		緑	本製品が認識されています。
 	SIMカードの状態	赤	SIMカードが認識されていません。
		緑	SIMカードが認識されています。
通信方式	通信方式を表示します。 圏外 : 圏外状態 3G : W-CDMA(3G)通信状態 <sup>※1</sup> HSPA : HSDPA/HSUPA 通信状態 <sup>※2</sup> GPRS : GPRS 通信状態(海外ローミング) <sup>※3</sup> EDGE : EDGE 通信状態(海外ローミング) <sup>※3</sup>		
通信事業者	接続中の通信事業者を表示します。		

※1 「W-CDMA(3G)」

世界標準規格である3GPPに準拠した第3世代移動通信ネットワークです。

3GPPとは、3rd Generation Partnership Projectの略です。

※2 「HSDPA」(High Speed Downlink Packet Access)、「HSUPA」(High Speed Uplink Packet Access)

W-CDMAのデータ通信を高速化した規格です。

※3 「GPRS」(General Packet Radio Service)、「EDGE」(Enhanced Data GSM Environment)

GSM通信方式を利用して高速パケット通信が可能な第2.5世代移動通信ネットワークです。

## 4.2 Modem Mobile Connection の起動

1. 本製品をパソコンに接続すると自動起動します。  
自動的に起動されない場合は、以下の操作を行ってください。

[Windows]

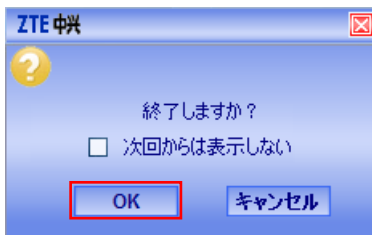
「スタートメニュー」→「プログラム」→「Modem Mobile Connection」フォルダから「Modem Mobile Connection」をクリックしてください。

[Mac]

「Finder」→「アプリケーションフォルダ」→「Modem Mobile Connection」をクリックします。

## 4.3 Modem Mobile Connection の終了

1. メイン画面の右上端にある「×」をクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。「OK」をクリックすると終了します。




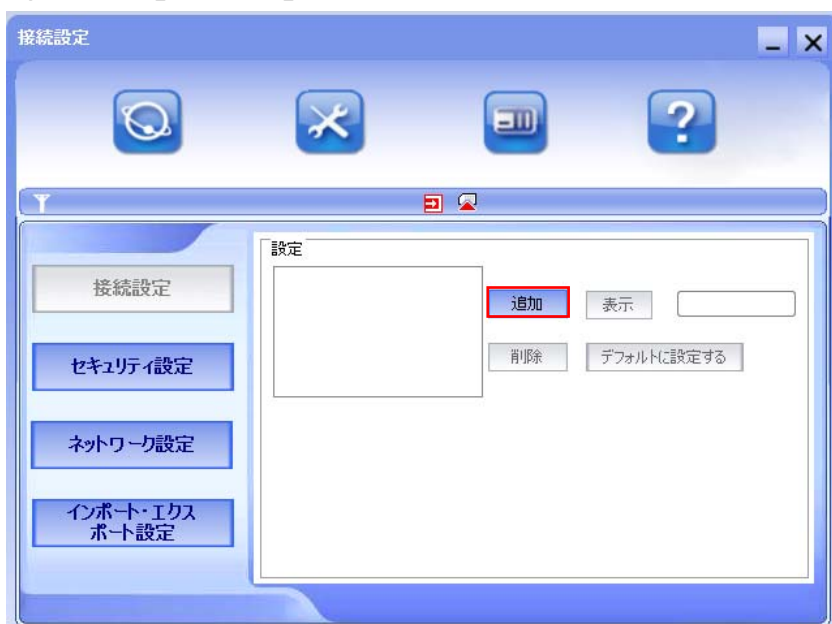
※「次回からは表示しない」をチェックして終了すると、以降、本画面は表示されなくなります。

## 4.4 接続設定

### 4.4.1 プロファイル設定

データ通信を利用する為のプロファイル設定を行います。プロファイルの設定がされていない場合、データ通信が利用できません。必ず本設定を行ってください。

1.  をクリックします。
2. 設定画面で「接続設定」→「追加」をクリックします。



#### [操作説明]

追加	新規のプロファイル(接続先設定)を追加します。
変更	選択されているプロファイルの内容を変更します。
削除	選択されているプロファイルを削除します。 接続先リストにプロファイルが一つしかない場合、削除はできません。
デフォルトに設定する	ネットワーク接続に使用するプロファイルを設定します。 接続先リストに複数プロファイルが登録されている場合は、接続先に応じて本設定を行います。

3. プロファイルの設定を行います。入力完了後、「OK」をクリックします。

〔設定項目〕

設定ファイル名	任意の設定名を入力します。
ダイヤル番号	「*99***1#」を入力します。
ユーザ名	「ユーザ名を入力します。(＠以下も入力が必要です) ユーザ名は最大「半角64文字」まで入力可能です。
パスワード	パスワードを入力します。 パスワードは最大「半角64文字」まで入力可能です。
ユーザ名とパスワードを保存	本項目を設定するとユーザ名とパスワードの入力が可能となります。
接続時にユーザ名とパスワードを確認する	本項目を設定すると接続毎にユーザ名・パスワードの入力を確認する画面が表示されます。
APN	APNを入力します。 APNは最大「半角100文字」まで入力可能です。
PDPタイプ	PDPタイプをIP,PPPから選択します。
認証モード	認証モードをPAP,CHAPから選択します。
DNS	「DNSサーバアドレスを自動取得する」を選択します。
PDPアドレス	「PDPアドレスを自動取得する」を選択します。

- ・ 事業者から指定された値を設定してください。設定を間違えると正しく接続できません。
- ・ 「OK」をクリックしないと設定が変更されません。必ずクリックしてください。
- ・ 複数のプロファイルの作成が可能です。指定するプロファイルで接続する際は、プロファイルを選択し、「デフォルトに設定する」を選択してください。
- ・ 各設定の最大文字数はMF112Aの仕様であり、各事業者が指定する文字数の上限とは異なります。

## 4.5 接続・切断

1. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
2. 自動的に Modem Mobile Connection が起動します。
3. メイン画面で「接続」ボタンをクリックします。ネットワークへの接続が開始されます。



4. ネットワークへの接続が完了するとボタンが「切断」に変わり、接続時間、送受信データ量が表示されます。



5. メイン画面で「切断」ボタンをクリックします。ネットワークへの切断が開始されます。
6. ネットワークへの切断が完了するとボタンが「接続」に変わります。

## 4.6 ネットワーク接続履歴

1. ネットワーク接続履歴をクリックします。



2. ネットワークの接続履歴が表示されます。
  - ・個別に削除する場合は履歴を選択後に「削除」をクリックします。
  - ・全件削除する場合は「全削除」をクリックします。



## 4.7 PIN 管理

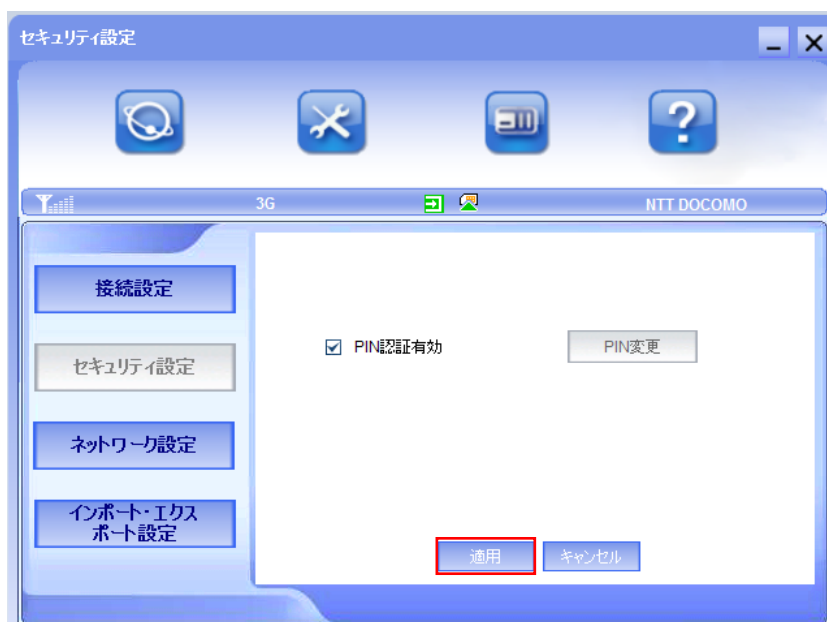
SIM カードは「PIN 認証有効」「PIN 認証無効」「PIN 変更」の設定ができます。

PINとは第三者による不正利用を防ぐための4～8桁のコードです。「PIN 認証有効」に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際にPINコードの入力が必要となります。お買い上げ時の設定については、購入先の事業者にお問い合わせください。

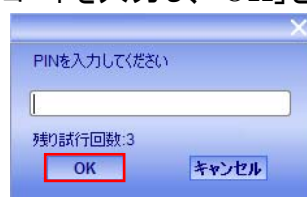
- ・ PINコードの初期値は「0000」です。※ご契約の事業者によっては異なる場合がございます。
- ・ PINコードは他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PINコードには「生年月日」「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。
- ・ PINコードの入力を3回間違えた場合、PINロック解除コードが必要となります。詳しくはご契約先の事業者にお問い合わせください。
- ・ 「PIN 認証有効」に設定した場合、電源をいれるたびにPINコードを入力する必要があります。PINコードはメモを取るなどして、お忘れにならないようにご注意ください。

### 4.7.1 PIN 認証有効

1. セキュリティ設定画面で「PIN 認証有効」をチェックします。
2. 「適用」をクリックします。



3. SIM カードに設定しているPINコードを入力し、「OK」をクリックします。





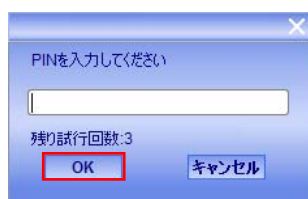
- PIN 認証が有効に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際に PIN コードの入力が必要です。  
PIN コードを忘れないようにご注意ください。

## 4.7.2 PIN 認証無効

1. セキュリティ設定画面で「PIN 認証有効」のチェックを外します。
2. 「適用」をクリックします。

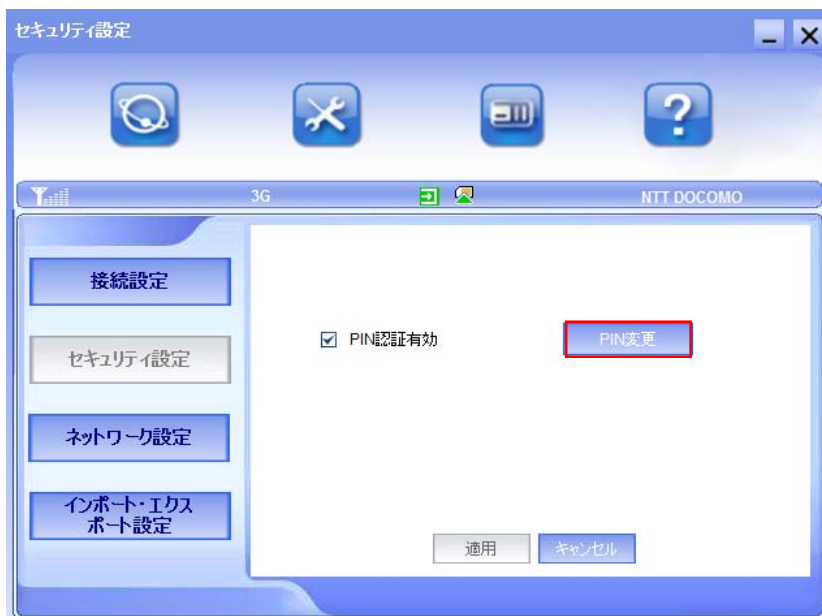


3. SIM カードに設定している PIN コードを入力し、「OK」をクリックします。



## 4.7.3 PINコードの変更

1. セキュリティ設定画面で PIN 変更をクリックします。



2. 現在設定している PIN コードを「PIN を入力してください」に入力します。
3. 変更する PIN コードを「新しい PIN を入力してください」に入力します。
4. 変更する PIN コードを「新しい PIN を再入力してください」に入力します。

5. OK をクリックします。

- ・ PIN コードは PIN 認証有効の設定がされている場合、変更が可能です。

## 4.8 ネットワーク設定

お買い上げ時は利用するネットワーク(事業者)を自動的に検索して接続します。海外でご利用の場合など、接続するネットワークを手動で選択する場合は、以降の設定を行ってください。

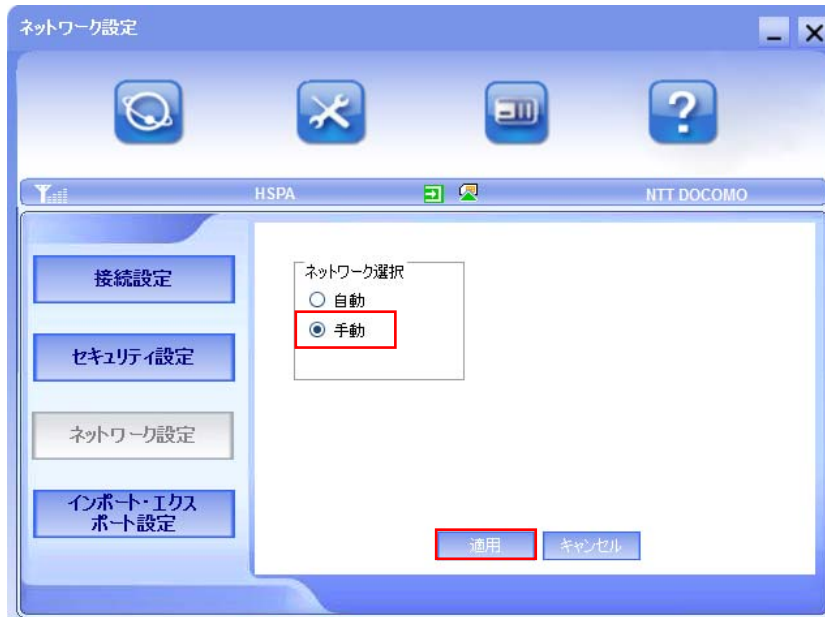


### [操作説明]

ネットワーク選択	自動	ネットワーク(事業者)を自動で検索します。
	手動	周辺のネットワーク(事業者)を検索し、一覧に表示されたネットワーク(事業者)に手動で接続します。
モード選択	自動	接続できるネットワークに自動で接続します。
	3Gのみ	3G ネットワークに接続します。
	GPRSのみ	GPRS ネットワークに接続します。

## 4.8.1 ネットワーク選択

1. ネットワーク設定画面のネットワーク選択を「手動」に選択します。

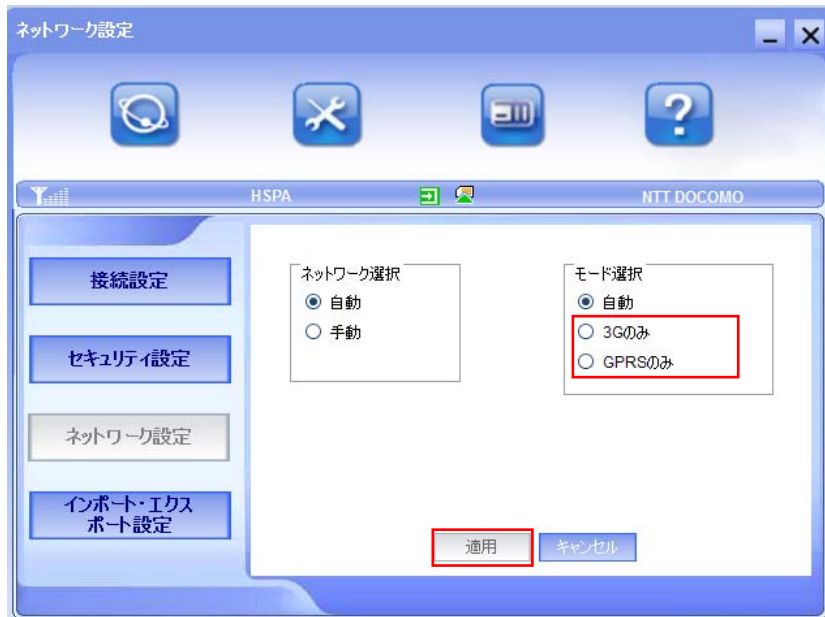


2. 「適用」をクリックします。  
ネットワークを検索した後、検索されたネットワークが表示されます。
3. 表示されたネットワークを選択します。
4. 「選択」をクリックします。

- ・ 海外で「手動」に設定した場合で、その後国内で使用する場合は「自動」設定に戻してください。
- ・ 海外で「自動」に設定している場合、利用中のネットワークがサービス外になると自動的に別のネットワークに接続します。
- ・ 手動設定後にネットワークへ接続できない場合、再度「自動」に切り替えたのち「手動」設定を行ってください。

## 4.8.2 モード選択

1. ネットワーク設定画面のモード選択から優先的に検索する通信方式を選択します。

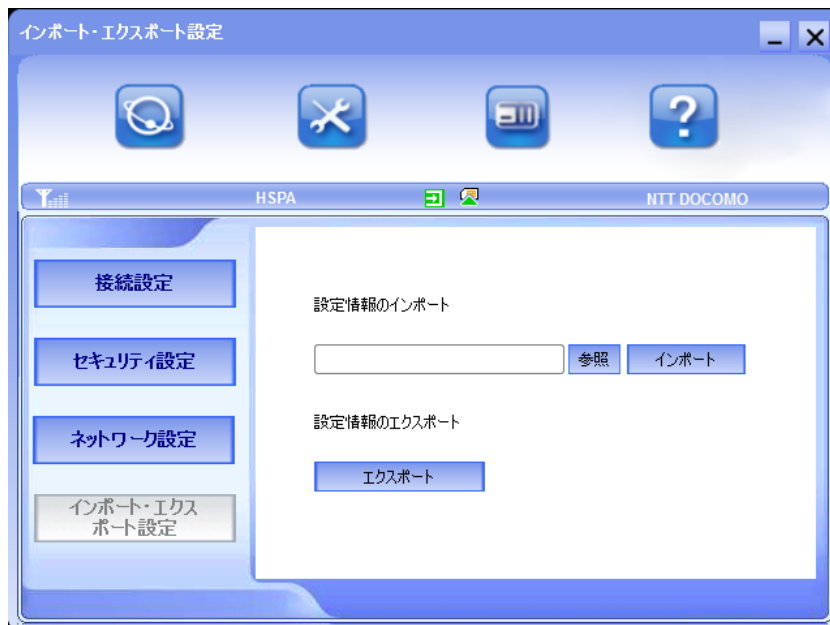


2. 「適用」をクリックします。

- ・ 海外で「3Gのみ」「GPRSのみ」に設定した場合、その後国内で使用する場合は「自動」設定に戻してください。
- ・ 海外で「自動」に設定している場合、利用中のネットワークがサービス外になると自動的に別のネットワークに接続します。

## 4.9 インポート・エクスポート設定

接続設定の情報をインポート(リストア)・エクスポート(バックアップ)することができます。



### [操作説明]

設定情報の インポート	参照	インポートするファイル(XML ファイル)を選択します。
	インポート	選択したファイルをインポート(リストア)します。
設定情報の エクスポート	エクスポート	接続設定の情報をファイル(XMLファイル)にエクスポート(保存)します。

### 4.9.1 インポート

1. 「参照」をクリックします。インポートするファイルを選択します。
2. 「インポート」をクリックします。インポートしたファイルの設定情報が反映されます。

### 4.9.2 エクスポート

1. 「エクスポート」をクリックします。保存する場所を選択します。
2. 「保存」をクリックします。設定情報がエクスポートされます。

## 4.10 端末情報

Modem Mobile Connection 上で端末の情報が閲覧できます。

### 1. 端末情報を選択します。



### 2. 端末情報が表示します。



PC Suite Version	Modem Mobile Connection のバージョンが表示されます。
Firmware Version	MF112A 本体のファームウェアバージョンが表示されます。
IMEI	MF112A 本体の IMEI が表示されます。
MSISDN	SIM カードの MSISDN(電話番号)が表示されます。
Model Name	モデル名(MF112A)が表示されます。

## 5. 付録

### 5.1 主な仕様

製品名	MF112A
外形寸法	72mm(D) × 27.5mm(W) × 10.5mm(H)
質量	約 21.5g
インタフェース	USB 2.0 HIGH SPEED
消費電力	通信時最大:2.1W 通信時一般:0.8W 待機時:0.3W
環境条件	動作温度範囲:-10~55°C 動作湿度範囲:5~95%
対応周波数	W-CDMA : 800MHz / 850MHz / 2100MHz GSM : 850MHz / 900MHz / 1800MHz / 1900MHz
通信方式	W-CDMA / HSDPA(DL 14.4Mbps) / HSUPA(UL 5.76Mbps) GPRS / EDGE  ご利用の通信方式や地域によって、最大通信速度が異なります。 また、ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、もしくは通信できなくなる場合があります。



## 5.2 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。

本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

## 5.3 CE Marking

Complies with the essential requirements of Article 3 of the R&TTE 1999/5/EC Directive, if used for its intended use and that the following standards have been applied:

Identification mark: 1588 (Notified Body) CE

## 5.4 FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This device has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiated radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

## 5.5 RF Exposure Information(SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The exposure standard for wireless device employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg. \*Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output. SAR compliance has been established in the host product(s) (laptop computers), tested at 5mm separation distance to the human body, and tested with USB slot configurations including Horizontal-UP, Horizontal-Down, Vertical-Front, Vertical-Back. This device can be used in host product(s) with substantially similar physical dimensions, construction, and electrical and RF characteristics. The highest SAR value, tested per FCC RF exposure guidelines for USB dongle, as described in this user guide, is 1.12 W/kg. The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of [www.fcc.gov/oet/ea/fccid](http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid) after searching on FCC ID: SRQ-MF112A.

## 5.6 WEEE/RoHS Compliance Statement

This symbol on the product or its packaging indicates that this product must not be disposed of with other waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your consumer waste equipment for recycling, please contact your local city recycling office or the dealer from whom you originally purchased the product.



## 5.7 知的財産権

※Windows®、Microsoft®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

※Mac、Macintosh は、米国 Apple Inc.の商標または登録商標です。

※その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。